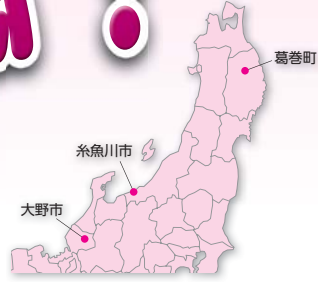


# 友好市町の「絆」と「連携」を確認！



## 大野市・糸魚川市に学ぶ

### 「輝くふるさと常任委員会」研修



輝くふるさと常任委員会は25年10月28日～31日、鈴木町長も同行し、友好市町の福井県大野市と新潟県糸魚川市を訪問しました。視察では、両市が進めている産業や観光振興などの取り組みを研修しました。昭和58年の「友好市町の契り」から30年目に当たる節目の年で、さらなる友好の「絆」を確認しました。

知度の向上を目指して、市の魅力を情報発信する取り組みを行っています。「人、歴史、文化、自然環境、食」など、魅力ある素材のすべてを越前おおののブランドとして磨き上げて、元気な大野市を実現しようとするものです。また、「結いの故郷越前おおの」をキャッチコピーに、市の施設の名称には「結」の活字を使用して、そのほか、

### 「越前おおの」の知名度を向上 ブランド戦略で情報発信

**大野市** 大野市は、福井県の東端に位置し、面積は福井県内で最大の広さです。豊富で清らかな地下水に恵まれ、市街地は城下町の面影を強く残し「北陸の小京都」と呼ばれています。

大野市近郊では、中部縦貫自動車道や北陸新幹線などのインフラの整備が進んでいます。大野市では、この機会を活用して地域振興を図ろうと考えて、25年2月に「越前おおのブランド戦略」を策定し、市のイメージや認

また、「結いの故郷越前おおの」をキャッチコピーに、市の施設の名称には「結」の活字を使用して、そのほか、



名水百選に選定された湧水の説明を聞く議員ら

### 北陸新幹線の開業を見据え ジオパーク事業を加速化

**糸魚川市** 糸魚川市は、新潟県の最西端に位置し、日本の東西の境界線上に位置しています。ヒスイなどの鉱物資源が豊富で、巨大断層（糸魚川静岡構造線）は日本列島誕生の謎を秘めた世界的な学術資源となっています。

糸魚川市は、特徴ある地形や鉱物資源が豊富で、日本で初めて世界ジオパークの認定を受けています。ジオパークとは、「大地の公園」という意味で、貴重な地質や地域の自然や文化を守り、多くの人に知ってもらい、訪れてもらうことを目的としています。

また、北陸新幹線が開業するため、交流人口の拡大に向け、観光振興の取り組みを加速化しています。そのほか、海底火山がもたらした海洋文化を感じる弁天岩ジオサイトや大地の成り立ちを確認できるフォッサマグナミュージアム施設を視察し、ジオパークを体験することができました。

この研修で、両市が進めている取り組みから、地域資源を磨いて情報発信し地域振興に結びつけることの大切さや、その取り組みに努力していく必要性をあらためて感じました。本町でも、さらなる情報発信や、新たな取り組みに目を向けていくことが必要と考えます。



ヒスイなどの鉱物資源を展示するジオパーク施設の説明を受ける議員ら

定期観光バスでジオサイト（地域のみどころ）を巡るツアーやジオパークを説明するガイドの育成、0歳から18歳までの一貫教育の中でジオパーク学習を取り入れるなどの事業を行っています。

**両市と交流深め  
強まる友好関係**

今回の研修で、両市の多くの議員や職員の方から心温まる歓迎を受けました。友好市町の交流を深めることができ、物産交流などで連携して行くことを確認しました。



糸魚川市議会との交流会での集合写真